



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年10月26日

上場会社名 栄研化学株式会社  
コード番号 4549 URL <https://www.eiken.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 納富 継宣

問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役経営管理統括部長 (氏名) 渡 一 TEL 03-5846-3379

四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 2023年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	20,264	△11.4	2,148	△62.0	2,225	△61.1	1,618	△62.5
2023年3月期第2四半期	22,865	7.1	5,656	17.1	5,721	16.8	4,321	17.9

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,672百万円(△61.8%) 2023年3月期第2四半期 4,373百万円(19.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	43.69	43.32
2023年3月期第2四半期	116.91	115.98

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	66,765	50,276	74.8	1,345.59
2023年3月期	66,275	49,535	74.2	1,327.47

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 49,918百万円 2023年3月期 49,154百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	24.00	—	27.00	51.00
2024年3月期	—	25.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	26.00	51.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	△2.9	5,380	△27.9	5,400	△28.7	4,250	△25.9	114.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期2Q	43,541,438株	2023年3月期	43,541,438株
2024年3月期2Q	6,443,508株	2023年3月期	6,512,625株
2024年3月期2Q	37,057,611株	2023年3月期2Q	36,964,577株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(重要な後発事象) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類に移行したことにより経済活動の正常化が進み、緩やかに回復しました。海外経済も持ち直しの動きがみられましたが、資源価格高騰や金融引き締めに伴う影響等による下振れリスクにより、不安定な状況のまま推移しました。

臨床検査業界においては医療費抑制策と円安や原油高による物流及び原材料調達などのコスト上昇により経営環境は一層厳しさを増し、各企業はさらにコスト競争力と積極的な海外展開を求められる状況となっております。

このような経営環境の下、当社グループは経営構想「EIKEN ROAD MAP 2030」に基づき策定された中期経営計画に沿って、「がんの予防・治療への貢献」、「感染症撲滅・感染制御への貢献」、「ヘルスケアに役立つ製品・サービスの提供」の3つの注力事業分野を中心に重点施策を展開し、グループ全体で持続的な成長と着実な収益性の向上に努めております。

また、世界の人々の健康を守る企業として「医療」の課題、そして「環境」・「社会」・「ガバナンス」の課題にも積極的に取り組み、さらなる企業価値の向上と持続可能な社会の実現を目指しております。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類移行により遺伝子検査需要が限定的となり、LAMP法を用いた新型コロナウイルス遺伝子検査試薬の売上が大きく減少し、20,264百万円（前年同期比11.4%減）となりました。製品の種類別区分ごとの売上高では、微生物検査用試薬は、新型コロナウイルス感染症以外の感染症関連製品、特に迅速診断キットや薬剤感受性検査用試薬が大幅に回復し、2,131百万円（同9.5%増）となりました。尿検査用試薬は、国内の病院市場や検診市場がコロナ禍前の状況に回復し、2,064百万円（同2.4%増）となりました。免疫血清検査用試薬は、便潜血検査用試薬が国内ではコロナ禍前の状況に回復するとともに海外向けの売上が大幅に増加し、11,500百万円（同9.4%増）となりました。生化学検査用試薬は295百万円（同3.2%減）、器具・食品環境関連培地は987百万円（同11.6%減）となりました。その他（医療機器・遺伝子関連等）につきましては、新型コロナウイルス検出試薬の売上が大幅に減少し、3,285百万円（同52.9%減）となりました。

海外向け売上高は、便潜血検査用試薬の売上が大幅に増加し、5,233百万円（同18.6%増）となりました。

利益面では、高利益品目である新型コロナウイルス検出試薬の売上及びLAMP法の特許料収入の減少により、営業利益は2,148百万円（同62.0%減）、経常利益は2,225百万円（同61.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,618百万円（同62.5%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

前連結会計年度末に比べ総資産は489百万円増加、負債は251百万円減少、純資産は741百万円増加いたしました。

増減の主なものとして、資産の部では、現金及び預金が556百万円増加、受取手形、売掛金及び契約資産が1,558百万円増加しております。また、長期預金が1,100百万円減少しております。負債の部では、支払手形及び買掛金が198百万円減少、電子記録債務が476百万円増加、設備投資等の支払により流動負債その他が312百万円減少しております。純資産の部では、配当金の支払があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が619百万円増加いたしました。自己資本比率は前連結会計年度末の74.2%から74.8%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2023年4月28日公表の業績予想から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,317	18,874
受取手形、売掛金及び契約資産	11,122	12,680
商品及び製品	4,739	4,462
仕掛品	1,940	2,014
原材料及び貯蔵品	1,733	1,916
その他	1,370	978
貸倒引当金	△6	△7
流動資産合計	39,217	40,920
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	25,367	25,509
減価償却累計額	△13,117	△13,378
建物及び構築物（純額）	12,249	12,130
機械装置及び運搬具	7,155	7,303
減価償却累計額	△5,765	△5,864
機械装置及び運搬具（純額）	1,390	1,438
工具、器具及び備品	5,027	5,096
減価償却累計額	△3,950	△4,109
工具、器具及び備品（純額）	1,076	987
土地	1,928	1,928
リース資産	329	304
減価償却累計額	△154	△121
リース資産（純額）	174	183
建設仮勘定	382	446
有形固定資産合計	17,202	17,115
無形固定資産	1,054	957
投資その他の資産		
長期預金	4,900	3,800
その他	3,936	4,006
貸倒引当金	△34	△34
投資その他の資産合計	8,802	7,772
固定資産合計	27,058	25,844
資産合計	66,275	66,765

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,685	4,486
電子記録債務	2,933	3,410
未払法人税等	827	652
賞与引当金	766	658
その他	3,230	2,918
流動負債合計	12,443	12,126
固定負債		
社債	3,000	3,000
資産除去債務	34	35
その他	1,261	1,327
固定負債合計	4,296	4,362
負債合計	16,740	16,488
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,897	6,897
資本剰余金	8,076	8,134
利益剰余金	36,865	37,484
自己株式	△3,095	△3,063
株主資本合計	48,743	49,453
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28	28
為替換算調整勘定	268	328
退職給付に係る調整累計額	115	107
その他の包括利益累計額合計	411	464
新株予約権	380	358
純資産合計	49,535	50,276
負債純資産合計	66,275	66,765

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	22,865	20,264
売上原価	11,452	11,625
売上総利益	11,412	8,639
販売費及び一般管理費	5,755	6,490
営業利益	5,656	2,148
営業外収益		
受取利息	9	4
受取配当金	1	2
受取賃貸料	9	10
受取補償金	3	2
業務受託料	9	—
補助金収入	10	10
為替差益	9	38
その他	20	18
営業外収益合計	73	87
営業外費用		
支払利息	7	8
その他	1	1
営業外費用合計	9	10
経常利益	5,721	2,225
特別利益		
固定資産売却益	—	1
投資有価証券売却益	49	—
特別利益合計	49	1
特別損失		
固定資産除売却損	1	54
特別損失合計	1	54
税金等調整前四半期純利益	5,770	2,172
法人税等	1,448	553
四半期純利益	4,321	1,618
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,321	1,618

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	4,321	1,618
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	0
為替換算調整勘定	66	59
退職給付に係る調整額	△8	△7
その他の包括利益合計	51	53
四半期包括利益	4,373	1,672
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,373	1,672
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(重要な後発事象)

(自己株式の消却)

当社は、2023年10月26日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式の消却に係る事項について以下のとおり決議いたしました。

自己株式の消却に係る事項の内容

(1) 消却対象株式の種類 普通株式

(2) 消却する株式の総数 5,000,000株 (上限)

(消却する前の自己株式を含む発行済株式総数に対する割合11.48%)

(3) 消却予定日 2023年11月30日